

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和6年度 工業専門課程（建築士研究科）

科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	二級建築士専攻	一次試験対策	1	前期	○		建築計画ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	60	2		○	
			1	前期	○		建築法規ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅱ(法規)対策	60	2		○	
			1	前期	○		建築構造ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅲ(構造)対策	60	2		○	
			1	前期	○		建築施工ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅳ(施工)対策	60	2		○	
		二次試験対策	1	後期	○		建築設計製図ⅢA(2級)	二級建築士の設計製図試験対策	300	10		○	
	一級建築士専攻	一次試験対策	1	前期	○		建築計画ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	30	1		○	
			1	前期	○		建築環境設備ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅱ(環境設備)対策	30	1		○	
			1	前期	○		建築法規ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅲ(法規)対策	90	3		○	
			1	前期	○		建築構造ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅳ(構造)対策	90	3		○	
			1	前期	○		建築施工ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅴ(施工)対策	60	2		○	
			二次試験対策	1	後期	○		建築設計製図ⅢA(1級)	一級建築士の設計製図試験対策	300	10		○
一般		1	前期		○	有償インターンシップⅢA	机上で学んだことを現場で実践する	450	10			○	
		1	後期		○	有償インターンシップⅢB	机上で学んだことを現場で実践する	450	10			○	
合計								8 科目	1500 単位時間	40 単位			

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
	卒業要件：800授業時間以上 GPA2.0以上 必修科目及び選択必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2	期
		1学期の授業期間	15	週

科目名	建築計画ⅢA(2級)						学期	前期	
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	二級建築士 学科試験 I 計画の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7								
週数	授業計画								
1	二級建築士 学科 I 計画の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築法規ⅢA(2級)						学期	前期	
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	二級建築士 学科試験Ⅱ法規の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7、建築関係法令集 法令編								
週数	授業計画								
1	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造ⅢA(2級)						学期	前期	
担当教員	佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7								
週数	授業計画								
1	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築施工ⅢA(2級)							学期	前期
担当教員	佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	二級建築士 学科Ⅳ施工の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7								
週数	授業計画								
1	二級建築士 学科Ⅳ施工の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設計製図ⅢA(2級)						学期	後	期
担当教員	鬼塚 来未	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	10
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	二級建築士 設計製図試験対策								
学習目標	課題の取り組みを通して知識・解法を身に付け、受験への意識を高め二級建築士に合格する。								
使用テキスト	総合資格 2級建築士試験 設計製図テキスト、総合資格 2級建築士試験 設計製図課題集								
週数	授業計画								
1	二級建築士 設計製図試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築計画ⅢA(1級)							学期	前期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験 I 計画の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題								
週数	授業計画								
1	一級建築士 学科 I 計画の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築環境設備ⅢA(1級)							学期	前 期
担当教員	大楠 安紀	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅱ環境設備の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題								
週数	授業計画								
1	一級建築士 学科Ⅱ環境設備の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築法規ⅢA(1級)							学期	前 期
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	3
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅲ法規の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題、建築関係法令集 法令編								
週数	授業計画								
1	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造ⅢA(1級)						学期	前期	
担当教員	竹村 哲也	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	3
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅳ構造の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題								
週数	授業計画								
1	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築施工ⅢA(1級)						学期	前期	
担当教員	星屋 吉宏	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅴ施工の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題								
週数	授業計画								
1	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設計製図ⅢA(1級)						学期	後	期
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	10
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 設計製図試験対策								
学習目標	課題の取り組みを通して知識・解法を身に付け、受験への意識を高め一級建築士に合格する。								
使用テキスト	適宜資料配布								
週数	授業計画								
1	一級建築士 設計製図試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	有償インターンシップⅢA							学期	前	期
担当教員	長田 静穂	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	自由選択	単位数	10	
学習目的	職業意識を醸成するとともに学習意欲の向上を目的とする									
授業内容	机上で学んだことを企業にて体験・実践し、レポート提出をする									
学習目標	授業で学んだ知識を活かすとともに、実習を通して自主性・主体性・ビジネスマナーを習得する。									
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる									
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
	評価項目/割合				評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	インターンシップに参後レポート提出・発表、実習先評価							
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加。身だしなみ・挨拶等実習先評価。							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	有償インターンシップⅢB							学期	後 期
担当教員	長田 静穂	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	自由選択	単位数	10
学習目的	職業意識を醸成するとともに学習意欲の向上を目的とする								
授業内容	机上で学んだことを企業にて体験・実践し、レポート提出をする								
学習目標	授業で学んだ知識を活かすとともに、実習を通して自主性・主体性・ビジネスマナーを習得する。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	インターンシップに参後レポート提出・発表、実習先評価						
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加。身だしなみ・挨拶等実習先評価。						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									